



多様な分野の知識や視点を身につけ、
地域資源を有効に活用できる
グローバル人材を目指そう！

私は、食料・農業経済に関わる分野について研究しています。食料や農業に関わる「人」「資源」「経営」などに焦点を当て、地域に潜む課題を解決する一助になればという思いで様々なテーマに取り組んでいます。

地域産業創出コースでは、多様な分野の講義や実習が準備されています。専門的な知識を身につけることはもちろん重要ですが、皆さんには、地域社会と触れ合いながら、課題解決能力や人間力を高めてもらえることを期待します。皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。

これまでの取組

教育 農業人材育成教育の取組

これまで、夜間開講の社会人向けプログラムを担当してきました。農業、食品関連業、金融業、行政等の様々な業種の方たちが共に学び、経営管理能力を高め、新たな商品開発や連携を実現しました。



ブランドトマトの加工品開発



姉妹で得意分野を活かしあい、麴加工品開発



直売所と連携し、加工・粉末野菜の研究開発・商品化

研究 「経験」が購買や消費の「態度」を変える

昨今、急須を使ってお茶を飲む人が減っていますが、茶業を営む方たちにとって、リーフ茶(茶葉)消費の減少は大きな問題です。

研究の結果、「茶に関する経験」が増えると、リーフ茶の購買や消費の態度にプラスの影響があることが明らかになりました。今後も、具体的な経営戦略策定に役立つことを目指しながら研究を進めていきます。

実習～例えば「地域探索実習」～

「地域探索実習」は、県内各地の地域住民の方々や企業の経営者の方々と意見交換を行いながら、“地域資源とは何か？”“地域や企業の課題は何か？”といったことを探っていくための実習です。

事前学習、地域住民や経営者との意見交換を重ね、さらに現場の実態を視察調査し、それらの情報を整理しながら、課題を抽出していきます。

地域の課題解決にチャレンジするための、重要な一歩目になります。一人で考えるだけでなく、みんなで知恵を出し合い、成果に向かっていくのもこの実習の特徴です。

＜実習全体の流れのイメージ＞



＜調査先のイメージ＞

研究～地域課題の解決方法を考える～

食料・農業経済に関わる分野は非常に幅が広いですが、基本的には「地域」がフィールドであり、「人」「資源」「経営」などが抱える課題に取り組んでいきます。

変化のスピードが速い現代において、情報を処理していくのは容易ではありません。ここでは、地に足をつけて一歩ずつ課題に立ち向かっていくことを学ぶことができます。

卒業後の就職イメージ

・公務員、試験研究機関、農業団体、農業法人、食品製造加工業、食品流通業、金融業、大学院進学 他

取得可能な免許、資格

・普及指導員※

※資格取得に必要な関連の授業を受けることができるので受験に有利になります。なお、資格試験を受験するには大学卒業後4年以上の実務経験が必要です。